



子ども大学かわごえ

# CUK だより

第17号 NO.1103

2011年3月10日

## 「テレビの見方」を考えよう

客員教授 池上彰氏

2月12日 於・東京国際大学

今日は楽しみにしていた池上彰先生の授業です。みんなワクワクです。

1時間目はメディア論です。何だかむずかしそうですが「テレビの見方を考えてみよう」という話です。

先生は、新聞を開いてみんなに見せました。「今日の朝刊のラジオ・テレビ欄を見てみましょう。不思議なことに気がつきます。例えば、日本テレビの『世界一受けたい授業』は、夜8時54分に番組が終わります。その後の番組も9時54分で終わっています。その他の番組も54分で終わるものがありますね。なぜ54分に終わってしまうのでしょうか。ヒント：NHKは54分に終わることはありません。

こういう疑問を大切にしましょう！」

みんなは考えます。「民放は激しい番組競争をしているので、他局より頑張ろうと思っているわけです。でも54分で終わってしまうのはなぜ？民放はCM（コマーシャル）がありますね。CMを流すとお金が入りますから、なるべく長く流したいですよ。でもCMは多くてもまったく無くても番組は成り立ちません。そこで民放のテレビ局の間でCMを入れる時間の長さを約束しました。5分までの番組ならCM



を1分入れましょう。5～10分なら2分、10～20分は2分30秒、20～30分は3分……50～60分なら6分と決めました」先生のお話は続きます。「でも60分の番組だと6分しかCMが入らないけれど、60分番組を55分と5分に分けると6分と1分で7分CMが入ることに気づきました。1分CMが増えればもっと収入があります。54分と6分に分けると6分と2分で8分になります。60分の番組よりもCMは3分長く流すことができ、年間では何億円もの収入になります。ルールを守りながら何とか利益を上げようと考えたのです。これが54分のヒミツです」なるほど、とみんなは思いました。

「NHKは受信料で、民放は企業のCMで成り立っています。衛星放送（WOWOWなど）は視聴料といってお金を払った人だけが見ることができます。日本の放送局にはこの3つのタイプがあります。戦後初めて日本テレビがCMを入れました。昔はごくわずかの

人だけしかテレビを持っていませんでした。たくさんの人が見なくては広告料を払いたいとは思いませんよね。どうしたらスポンサーから広告料を集めることができるのでしょうか」手が上がって「街中にテレビを置く」という答えが出ました。「すばらしい！ 街頭テレビというのを聞いたことはありますか？ 駅前などでたくさんの人が集まってテレビを見ているという風景がありました。多くの人にCMも見てもらえます。そしてみんなテレビが欲しくなると、テレビが売れて安くなり、みんなの家でも買えるようになりました」

視聴率のお話になりました。「テレビ局には毎日視聴率表が届きます。『池上彰の学べるニュース』は19:00からの3時間番組ですが、始まりの15.2%からどんどん上がって、20時には19.6%になりました。でもどうやって視聴率を調べているのでしょうか。首都圏では3500万人くらい住んでいますが、600世帯に視聴率を調べる機械を置いてもらって、どんな番組を見ているかを調べています。何千分の一、何万分の一で大まかな傾向をみることを統計学といいます。スープの味見理論というのがあります。スープの味を確認すると



きはよくかきまぜて、スプーンですくって味をみると (小江戸新聞社ご提供)

全体の味が分かります。世論調査も視聴率もそうです。首都圏でまんべんなく1軒1軒に置いてもらい、おおよその数字を出します。番組のスポンサーは製作費も込みで番組にお金を出しますから、視聴率が高い番組を作ればたくさんお金がもうかるということです。でも視聴率が高いからそれがいい番組かということそうではないですね。みんなが見ていて楽しくてためになる番組ならいいですね。『池上彰の学べるニュース』とかね」みんな拍手です。

「さて、NHKは特殊法人という会社です。第二次世界大戦の前、ラジオ放送を始めるのに東京放送局が作られました。でも東京都内でラジオがある家は50数軒しかなかったので、国民の税金を使って放送できません。ラジオを持っている人から聴取料をもらって番組を作ろうということになりました。放送法という法律で日本放送協会がつけられました。最初はNHKに受信料を払っていましたが、民放が出来るとNHKを見ていないのにお金を払う必要がないという人も出てきます。そして最近は、みんながテレビを見なくなってきています。インターネットに負けてしまっているのです。youtubeやニコニコ画像Ustreamなどによって、テレビの視聴率が下がっています。テレビ局も危機感を持っています」

そして先生は「ぜひ知ってもらいたいことがあります。以前納豆を食べるとダイエットになるという番組がありました。これが放送されるとみんながいっせいに買ってしまって、納豆がスーパーから消えてしまいました。でもこれはおかしいと考えることが大事です。テレビ、新聞、ラジオをまとめてメディア（ある情報だれかにつたえる途中けいか）と言いますが、そのメディアが言っていることは本当か、読み説（と）く力が求められています。そういう考え方をもってTVを見てほしいと思います」というお話で1時間目が終わりました。

## 「民主主義の国」とはどんな国？

2時間目は大学の授業でいうと「政治学」です。「民主主義」についての授業です。先生のお話が始まりました。「今日のニュースで、ムバラク政権崩壊（ほうかい）と報道されていました。エジプトで30年間大統領だった人に対して何百万人の国民が「大統領やめろ！」という集会を開いていましたが、ついに辞めることになりました。エジプトは民主主義ではないのでしょうか。そもそも民主主義ってなんだろう」

先生のこの質問にたくさんの手が上がりました。「選挙をしていろんなことを決める国」、「一人で決めるのではなく、みんなで決める国」「国民の意見を聞き入れる国」など。

「エジプトは国民が大統領を選んでいましたが、国民主権ではなかったのでしょうか。国の形を決めるには大きな決まりがあります。これを憲法といいます。その憲法の下に法律があります。エジプトは民主主義の国のはずなのに、国民は怒って大統領を追い出しました。どうしてでしょうか。エジプトは選挙に立候補できる人の資格が決まっています。国の中で1年以上どこかの政党のリーダーであること、あるいは国会議員の250人以上の推薦がある人しか立候補できないことになっています。また、宗教の団体が立候補してはいけないと決まっています。民主主義の仕組みはありますが、ムバラクさん以外は立候補ができないようになっています。



(小江戸新聞社ご提供)

東南アジアのミャンマーは新しい憲法ができて選挙によって大統領が決まりました。しかし民主主義の国を作りたいと運動をしているアウンサン・スーチーさんは軟禁状態（なんきんじょうたい）になっています。ミャンマー政府はスーチーさんが大統領にならないようにしているのです。新しい憲法には、大統領は軍事の深い知識を持っている人でなければならないという条件がつけました。外国人と結婚していた人も大統領になれません。スーチーさんはイギリス人と結婚していました。いろんなしかけをして立候補できないようになっています」

先生は、民主主義のように見せて、実は民主主義ではない国を上げました。

「朝鮮民主主義人民共和国は民主主義の国でしょうか。アフリカにはコンゴ民主共和国がありますし（コンゴという国もありますから混合しないように）、今はなくなりましたが、東ドイツという国がありました。正式にはドイツ民主共和国です。コンゴ民主共和国は選挙に反対すると殺されてしまい、内戦状態で危険です。ドイツ民主共和国は民主主義的ではなかったのが消えてしまいました。国の名前に『民主』と入っている国はどれも民主主義ではなかったりするのですね。わざわざ民主と宣伝する国は民主主義から遠いような気がします。中華人民共和国の憲法には『国民は言論の自由、集会の自由をもっている』とあります。ところが、中国ではこのあいだノーベル賞を受賞した人が『中国を民主化すべきだ』と言って刑務所に入れられました。不思議ですね。また、中国でインターネットで民主化と検索すると民主化については何にも出てきません。国民がそういう情報を知ることができないよう監視（かんし）をしているサイバー・ポリスがいます」

先生は世界民主主義指数（しすう）167の国について調べました「2010年、民主主義が保障されている国はどこでしょう。1位はノーベル平和賞を決めている国ノルウェーです。



実はスウェーデン人のノーベルが発明したダイナマイトが戦争に使われてしまい、悲しんだノーベルは死ぬときに世界の発展平和につくした人にノーベル賞をわたしてほしいと遺言しました。この時スウェーデンと仲が悪かったノルウェイで平和賞を決めるようにしたのです。それでノルウェイは責任感から民主主義の国であろうと一生懸命平和の為に努力しています。2位はアイスランドです。3位デンマーク、4位スウェーデン、アメリカ17位、日本は22位でした。この調査では世界をいくつかのグループに分けています。完全な民主主義の国、欠点のある民主主義の国、混合（こんごう）政治体制・独裁（どくさい）政治体制です。完全民主主義の国はこのリストでは26位までです。選挙の手続き、いろいろな党や人が立候補できるか、政府がちゃんと機能しているか、汚職がないか、国民が政治に参加しているか、政治の文化、市民の自由を見えています。これはエコノミストという雑誌の研究所が作った項目（こうもく）です。項目の選び方によっていくらでも順位は変わるんだということを知ってください。日本がこんなに低い理由は、政治への参加のポイントが低いからです。投票率が低く、国民の政治への参加意識が低いのです。デンマークはいつも投票率が85%です。投票にいくのがあたりまえだと思っています。消費税が25%だからです。そのかわり幼稚園から大学まで授業料が無料。病院も無料です。年金もたくさん出ますから老後のための貯金をしません。貯金せずに使うので経済が悪くなりません。高い消費税を無駄遣いしてほしくないから、みんなでちゃんと政治家を選ぼうとして投票に行くのです」



「日本では民主主義の仕組みにすばらしいものがあります。朝7時に投票に行くと選挙管理委員から投票箱の中に何にも入っていないことを確認するお仕事を頼まれます。エジプトは有権者が行く前にごっそり投票用紙が入っていたりします。北朝鮮は候補者を支持するかしないか、みんなが見ている前で○か×を書いて投票します。これだと誰が×をつけたか分かってしまうので、○しか書けません。形だけで実際に機能していないと民主主義とは言えないわけです。みんなが民主主義を守っていくという取り組みがなければ、民主主義にはならないのだということです」みんなは、本当の民主主義とは何かを考えることができました。大きな拍手で授業が終わりました。

## 連絡事項

### 1. 学園祭「ミニかわごえ2010」

いよいよ今月12日（土）と13日（日）に、昨年同様蓮馨寺で開かれます。学生も保護者も全員参加して、こどものまちを盛り上げましょう。

### 2. 2010年度終業のつどい

今月26日（土）午後2時から東京国際大学で開催されます。この終業のつどいは、学生の研究発表、シンポジウム、終業式からなっています。一部の学生と保護者には研究発表とシンポジウムへの参加をお願いしますので、ご協力をお願いします。詳細プログラムは追って連絡します。

子ども大学かわごえ

学長 遠藤 克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川崎市霞ヶ関北3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991（事務局直通）

FAX 049-233-1640F

E\_MAIL [info@cuk.or.jp](mailto:info@cuk.or.jp)